

経営戦略の全体構成(案)修正版

経営戦略2021(現在)

経営戦略2026(改定)

	はじめに
1	事業概要
(1)	市の特色
①	人口
②	土地利用
③	財政
④	組織体制
(2)	下水道事業の経緯・目的と効果
(3)	投資・施設
①	これまでの投資
②	公共下水道施設
③	整備・普及状況
(4)	体制・委託
①	体制の拡大・縮小
②	民間への委託
(5)	下水道財政
①	下水道財政の仕組み
②	現状
③	あるべき姿
	下水道事業の過去の全体像
(6)	課題の整理
①	経営比較分析表からみる課題
②	これまでの下水道事業運営審議会からの答申
③	これまでの計画の実施状況
④	課題の整理
2	将来の事業環境
(1)	市全体(人口、土地利用)
(2)	気候変動
(3)	老朽施設の急増・リスク
3	経営の基本方針
4	投資・財政計画(令和3年度(2021年度)~令和12年度(2030年度))
(1)	検討手順・方針
(2)	投資計画(試算)
①	中期・長期目標
②	施設の投資計画(令和3年度(2021年度)~令和12年度(2030年度))
③	今後の戦略的事業
④	最適化・平準化・広域化
⑤	体制・民間活用・技術力
⑥	その他の取組(デジタル化等)
(3)	財政計画(試算)
①	中期目標
②	企業債
③	下水道使用料
④	繰入金
⑤	資産活用
(4)	投資・財政計画(見直し)
①	収益的収支(見直し)
②	資本的収支(見直し)
③	企業債残高
④	経費回収率の向上に向けたロードマップ
	投資・財政計画(詳細版)
	下水道事業の将来の全体像
5	進捗管理・検証・見直し

	はじめに
1	経営戦略の位置付け
2	経営戦略2021の進捗・評価
(1)	施設の投資計画 ①緊急輸送路の汚水管修繕改築工事 ②民間開発団地管渠の改築更新 ③雨水管・雨水調整池の修繕改築 ④下水道終末処理場の耐震化・改築 ⑤持続型下水道幹線再整備事業
(2)	最適化・平準化・広域化
(3)	体制・民間活用・技術力
(4)	その他の取組(デジタル化・資産活用等) ①処理水の利用 ②下水汚泥・焼却灰のたい肥化 ③下水汚泥の炭化燃料化・下水汚泥ガス発電 ④再生可能エネルギーの活用
(5)	財政計画の進捗状況 ①企業債 ②下水道使用料
(6)	全体評価
3	下水道事業を取り巻く事業環境・予測
(1)	下水道事業を取り巻く事業環境 ①人手不足・情報化社会へ ②物価等の高騰 ③自然災害の多発化・激甚化、事故の多発化 ④下水道分野における地球温暖化対策
(2)	下水道事業を取り巻く事業の予測 ①処理区域内人口の予測 ②有収水量の予測 ③下水道使用料収入の予測 ④下水道施設の予測 ⑤組織・体制の予測
4	課題の整理
(1)	膨大な下水道施設の急速な老朽化と災害脆弱性
(2)	財政状況の悪化 ①下水道使用料 ②経費の増大 ③資本費算入率 ④国庫補助金
(3)	執行体制の脆弱化 ①下水道事業会計配置人数の不足 ②担い手の不足
(4)	下水道分野における地球温暖化対策、DXの推進など
5	経営の基本方針
(1)	老朽化・脆弱な下水道施設の早期改築更新・統合
(2)	再構築期における財政改革
(3)	再構築期における官民連携
(4)	新たなニーズへの対応(地球温暖化対策、DXの推進)
6	主な取組
(1)	老朽化・脆弱な下水道施設の早期改築更新・統合 ①下水道終末処理場等の設備の改築・更新 ②緊急輸送路・軌道下に埋設している汚水管の修繕・改築 ③民間開発団地に埋設している汚水管の修繕・改築 ④雨水管・雨水調整池の修繕・改築 ⑤重要な汚水幹線のマンホール蓋の修繕・改築 ⑥重要な汚水幹線の耐震化(マンホール浮上対策、可とう継手) ⑦持続型下水道再整備事業 ⑧七里が浜下水道終末処理場の耐震化 ⑨山崎下水道終末処理場の耐震化
(2)	再構築期における財政改革 ①下水道使用料の改定
(3)	再構築期における官民連携 ①包括的民間業務委託 ②ウォーターPPPの導入
(4)	新たなニーズへの対応(地球温暖化対策、DXの推進) ①地球温暖化対策 ②デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進 ③汚水処理事業の広域化・共同化
7	投資・財政計画
(1)	下水道使用料の見直しに関する事項
(2)	企業債に関する事項
(3)	繰入金に関する事項
(4)	投資以外の経費に関する事項
(5)	経費回収率の向上に向けたロードマップ
(6)	投資・財政計画
8	進捗管理・検証・見直し

資料編

1	鎌倉市下水道事業の現状
(1)	下水道事業の計画
(2)	組織の状況
(3)	下水道事業施設の整備状況・老朽化等 ①汚水管まよの状況 ②雨水管まよの状況 ③処理場の状況 ④ポンプ場の状況
(4)	財政状況